

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち(防災・安全)															
計画の期間	平成22年度 ～ 平成25年度 (4年間)					交付対象	豊川市									
計画の目標																
本市の市街地は、古くから豊川稲荷の門前町として栄えてきた豊川地区や旧東海道の御油宿や赤坂宿など、旧市街地が多く、都市基盤や防災施設などの整備の遅れなど、早急に取り組むべき課題がある。 本市の将来像である「豊かな自然と歴史を守りながら、地域と行政が連携・協働し、すべての市民が安全で安心して健やかに暮らすことのできるまち」を目指すためには、こうした課題に対応する都市基盤整備事業、防災施設整備事業等の実施が必要不可欠である。 そこで、本計画では、市民生活の各分野にわたり影響を及ぼすおそれのある各種災害等に対処するため、必要な防災施設整備等を実施し、「住みたくなるまち」豊川市を、市民と協働で目指すものである。																
計画の成果目標（定量的指標）																
		・全市民の防災訓練参加者割合を7.3%から8.5%に増加 ・市内の避難地及び避難所のデジタル同報系防災無線音達エリアカバー率を18.1%から88.1%に増加														
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考			
										当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)				
		市内で実施される防災訓練に参加する市民の割合を集計する。								7.3%	7.9%	8.5%				
		市内の避難地及び避難所のうち、防災無線の音達エリア内の避難地及び避難所の割合を集計する。								18.1%	88.1%	88.1%				
全体事業費		合計 (A+B+C)	615百万円	A	315百万円	B	0百万円	C	300百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		48.8%				
事後評価																
○事後評価の実施体制、実施時期																
事後評価の実施体制								事後評価の実施時期								
								・平成28年4月								
・関係各課で構成される庁内評価組織により、数値目標の達成状況や効果発現について検証及び分析を行う。								公表の方法								
								・都市計画課窓口及び市ホームページに掲載し公表する。								
1. 交付対象事業の進捗状況																
交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	都市防災	一般	豊川市	直接	豊川市	都市防災総合推進事業(豊川防災地区外4地区)	デジタル防災行政無線の設計・整備（親局・中継局整備、子局146箇所）	豊川市						315		
													小計	315		
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
													合計			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

C 効果促進事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	施設整備	一般	豊川市	直接	豊川市	市民病院整備事業	市民病院整備4.2ha	豊川市						300	
合計														300	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C1-1	都市防災推進事業(1-A-1)と一体的に整備することで、防災対策の充実による安全安心、医療機能の向上による安全安心まちづくりを総合的に推進し、本計画の目標である『すべての市民が安全で安心して健やかに暮らすことのできるまち』を創出する。														

その他関連する事業

事業種別	交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)	市町村名	全体事業費 (百万円)	備考
1-A'-2 都市再生整備計画	豊川市	一宮地区	豊川市	150	防災・安全移行元
1-A'-3 都市再生整備計画	豊川市	小坂井地区	豊川市	114	防災・安全移行元
1-A'-4 都市再生整備計画	豊川市	豊川音羽歴史地区	豊川市	1,267	防災・安全移行元
1-A'-5 都再区画	豊川市	一宮大木地区	豊川市	149	防災・安全移行元
1-A'-6 公園	豊川市	都市公園事業（御油松並木公園）	豊川市	435	防災・安全移行元
1-A'-7 公園	豊川市	公園長寿命化計画策定事業（豊川市）	豊川市	18	防災・安全移行元
1-A'-8 公園	豊川市	都市公園安全安心対策緊急総合支援事業（豊川市）	豊川市	761	防災・安全移行元
1-A'-9 水循環再生	豊川市	水環境創造事業（水循環再生型）	豊川市	142	防災・安全移行元
1-C'-3 施設整備	豊川市	安全安心まちづくり事業	豊川市	35	防災・安全移行元
1-C'-4 施設整備	豊川市	公園施設長寿命化対策支援事業	豊川市	15	
1-C'-5 施設整備	豊川市	都市公園出入口安全対策事業	豊川市	9	

A'	3,036百万円 (内提案事業326百万円)	B'	0百万円	C'	59百万円	$((A+A' \text{ (提案分)}) + (C+C')) / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	18.46%
----	---------------------------	----	------	----	-------	--	--------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・同報系防災無線の整備により、市内の迅速かつ適切な情報伝達が可能となった。 ・同報系防災無線の整備、災害医療拠点となる市民病院の整備及び防災に資する市街地整備により、市民の防災に対する意識が高まり、防災訓練の参加者が増加した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（市内で実施される防災訓練に参加する市民の割合）	最終目標値	8.5%	目標値と実績値に差が出た要因	・防災無線の整備や、これに合わせた防災訓練の増加、災害医療拠点となる市民病院の整備により市民の防災意識が高められ、防災訓練の参加者割合の増加に寄与した。
		最終実績値	9.1%		
	指標③（市内の避難地及び避難所のデジタル同報系防災無線音達カバー率）	最終目標値	88.1%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	88.1%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					

3. 特記事項（今後の方針等）

・各種災害等に対処するため、今後も都市防災総合推進事業を継続し、必要な防災施設の整備を実施し、「すべての市民が安全で安心して健やかに暮らすことのできるまち」を推進する。

(参考図面) 市街地整備

